

各 位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター
G L P 投 資 法 人
 代表者名 執行役員 辰巳 洋治
 (コード番号: 3281)

資産運用会社名
G L P ジャパン・アドバイザーズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 三浦 嘉之
 問合せ先 執行役員 CFO 兼経営企画部長 三木 久武
 (TEL. 03-3289-9630)

投資法人債（グリーンボンド）の発行に関するお知らせ

GLP 投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2019年10月30日付「グリーンボンド発行に向けた訂正発行登録書の提出に関するお知らせ」でお知らせした、2019年10月30日付訂正発行登録書及び2019年10月16日開催の本投資法人役員会決議に基づき、本日、下記のとおり GLP 投資法人第14回無担保投資法人債（別称：GLP グリーンボンド）の発行を決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 投資法人債（グリーンボンド）の概要

- | | |
|-------------------------|--|
| (1) 名称 | GLP 投資法人第14回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）
（以下「本グリーンボンド」という。） |
| (2) 発行総額 | 金 5,000 百万円 |
| (3) 債券の形式 | 本グリーンボンドは社債、株式等の振替に関する法律の規定の適用を受け、本グリーンボンドについての投資法人債券は発行しない。 |
| (4) 払込金額 | 各本グリーンボンドの金額 100 円につき金 100 円 |
| (5) 償還金額 | 各本グリーンボンドの金額 100 円につき金 100 円 |
| (6) 利率 | 年 0.550% |
| (7) 各投資法人債の金額 | 金 1 億円 |
| (8) 募集方法 | 一般募集 |
| (9) 申込期間 | 2019年11月14日（木） |
| (10) 払込期日 | 2019年11月27日（水） |
| (11) 担保・保証 | 本グリーンボンドには担保及び保証は付されておらず、また本グリーンボンドのために特に留保されている資産はない。 |
| (12) 償還方法及び期限 | 2029年11月27日に本グリーンボンドの総額を償還する。
本グリーンボンドの買入消却は、払込期日の翌日以降、振替機関が別途定める場合を除き、いつでもこれを行うことができる。 |
| (13) 利払期日 | 毎年5月及び11月の各27日（銀行休業日の場合は前営業日に繰上げ） |
| (14) 財務上の特約 | 担保提供制限条項が付されている。 |
| (15) 取得格付 | AA 株式会社日本格付研究所 |
| (16) 財務代理人、発行代理人及び支払代理人 | 株式会社三井住友銀行 |
| (17) 引受証券会社 | S M B C 日興証券株式会社（グリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント）（注1）、大和証券株式会社及び三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 |

なお、本グリーンボンド発行の仕組み（グリーンファイナンス・フレームワーク）（注2）に対する第三者評価として株式会社日本格付研究所（JCR）より「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」（注3）の最上位評価である「Green 1（F）」の評価を取得しています。

（注1） 「グリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント」とは、グリーンボンドのフレームワークの策定及びセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者をいいます。

（注2） グリーンファイナンス・フレームワークについては、以下の本投資法人のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.glpjreit.com/sustainability/greenbond.html>

（注3） 「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」とは、国際資本市場協会（ICMA）が作成したグリーンボンド原則、環境省が策定したグリーンボンドガイドライン 2017年版及びローン・マーケット・アソシエーション（LMA）及びアジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）が作成しているグリーンローン原則を受けた発行体又は借入人のグリーンボンド発行又はグリーンローン借入方針（グリーンファイナンス方針）に対する JCR による第三者評価をいいます。当該評価においては発行体又は借入人のグリーンファイナンス方針に記載の調達資金の用途がグリーンプロジェクトに該当するかの評価である「グリーン性評価」及び発行体又は借入人の管理・運営体制及び透明性について評価する「管理・運営・透明性評価」を行い、これら評価の総合評価として「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」が決定されます。なお、「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」は、個別の債券又は借入に関する評価と区別するため、評価記号の末尾に（F）をつけて表示されます。

本グリーンボンドの「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」は、以下の JCR のホームページに掲載されています。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

2. 発行の理由

本投資法人は ESG 活動を推進するとともに、ESG 投資に積極的な投資家層の拡大による資金調達手段の拡充を目指すことを目的として、今般、本グリーンボンドの発行を行います。

本グリーンボンドは 2019 年 10 月 30 日付「グリーンボンド発行に向けた訂正発行登録書の提出に関するお知らせ」でお知らせした本グリーンボンド発行の仕組み（グリーンファイナンス・フレームワーク）に基づき発行されるものです。

本グリーンボンドの手取金については、全額を 2019 年 11 月 28 日に償還を迎える第 7 回無担保投資法人債（調達資金はグリーン適格資産（注1）の基準を満たす特定資産である GLP・MFLP 市川塩浜（注2）の取得のための借入金のリファイナンス資金に全額充当）の償還資金に充当する予定です。

（注1） 「グリーン適格資産」とは、以下の要件のいずれかを満たす資産又はプロジェクトをいいます。以下同じです。

(1) グリーンビルディング

以下の分類において少なくとも一つの認証を取得した新規、既存又は改修建築物。

- ① DBJ Green Building 認証（日本）：5 つ星、4 つ星又は 3 つ星
- ② CASBEE（日本）：S、A 又は B+
- ③ BELS（日本）：5、4 又は 3
- ④ LEED（アメリカ）：Platinum、Gold 又は Silver

(2) 再生可能エネルギー発電設備

再生可能エネルギー発電設備（投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成 12 年政令第 480 号。その後の改正を含みます。）で定めるものをいう。）（太陽光発電パネルの設置を含むが、これに限らない。）。

（注2） GLP・MFLP 市川塩浜は以下の認証を取得しており、グリーン適格資産となる要件を満たしています。

取得認証	評価ランク	評価取得日
CASBEE	不動産-S ランク	2018 年 2 月 28 日

3. 調達する資金の額、用途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

4,967 百万円

(2) 調達する資金の具体的な資金用途及び支出予定時期

2019 年 11 月 28 日に償還を迎える第 7 回無担保投資法人債（調達資金はグリーン適格資産の基準を満たす特定資産である GLP・MFLP 市川塩浜の取得のための借入金のリファイナンス資金に全額充当）の償還資金に充当する予定です。

4. 本グリーンボンドへの投資表明投資家

本日時点において、本グリーンボンドへの投資意向を示して頂いている投資家のうち、投資家名の実名開示に同意頂いた投資家を掲載いたします（五十音順）。

- ・旭川信用金庫
- ・公益財団法人 鉄道弘済会
- ・茨城県信用組合
- ・さわやか信用金庫
- ・越前信用金庫
- ・大東京信用組合
- ・大分県信用組合
- ・東京海上日動火災保険株式会社
- ・大阪信用保証協会
- ・飯能信用金庫
- ・観音寺信用金庫
- ・富士信用金庫
- ・ぐんまみらい信用組合
- ・両備信用組合

5. 本グリーンボンド発行後の有利子負債の状況

(単位：百万円)

	本グリーンボンド 発行前	本グリーンボンド 発行後（注2）	増減
短期借入金（注1）	6,400	6,400	—
長期借入金（注1）	228,600	228,600	—
借入金合計	235,000	235,000	—
投資法人債	37,600	35,700	△1,900
借入金及び投資法人債の合計	272,600	270,700	△1,900

(注1) 短期借入金とは本日現在を基準として返済期日までの期間が1年以内のものをいい、長期借入金とは返済期日までの期間が1年超のものをいいます。

(注2) 「本グリーンボンド発行後」については、第7回無担保投資法人債の償還日である2019年11月28日時点の数値を記載しています。

6. その他投資家が当該情報を適切に理解・判断するために必要な事項

本グリーンボンドの償還等に係るリスクについては、2019年5月30日に提出した有価証券報告書記載の「投資リスク」から重要な変更はありません。

7. レポーティング

本投資法人は、グリーンファイナンス実施後、本投資法人のウェブサイト上において調達した資金の充当状況を報告します。当該報告は、対応するグリーンファイナンスの残高がゼロになるまで年1回行います。また、本投資法人は、グリーンファイナンスの残高が存する限り、ウェブサイト上で各年の2月末時点における以下の指標を公表します。

- ・ 充当された調達資金の総額
- ・ 未充当の調達資金の残高
- ・ グリーン適格資産の物件数
- ・ 取得した各種環境認証のレベル
- ・ グリーンファイナンス対象プロジェクトとなった再生可能エネルギー発電設備の年間CO₂削減総量

以上

*本投資法人のホームページアドレス : <https://www.glpjreit.com>